

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月8日に厚生分科会を開催しました。

議案第 38 号 平成 25 年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で可決すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：緊急通報装置の設置者は、今現在何人いるのか。
答：月々で出入りがあるが、最新では約 270 人である。
問：母子福祉費の扶助費の内、高等技能訓練促進費の対象者はどういった方か。
答：母子家庭の母親が就業のために、看護婦や保育士になる技術を身につけるための経費で、1 人分の予算を計上している。
問：3～4 日休んだ場合、保育料を日数計算して減免する市がある。本市ではそのような要望は無いのか。
答：本年度に 1 件特別決裁を得て保育料を無料にしたケースはあったが、それ以外はそのような要求はない。
問：放課後児童クラブは、子どものためによそから講師を呼んで講演会をした場合、講師の謝礼は出せるか。
答：地域によって特色あるやり方をしている。指定管理委託料の中で考えていただければいいので工夫していただきたい。
問：生活保護扶助費が昨年度と比較して減額になっている理由は何か。
答：自立に向けた支援をしている。自立支援相談員等の働きかけ等もある。4 月 1 日 317 世帯 2 月末 319 世帯 新規申請 63 世帯 就労・年金で廃止 60 世帯あった。
問：井原鉄道の運行に対して補助金を交付しているが、総社-清音間の乗車数が少ないように見受けられる。経営状態はどうか。
答：施設の整備や維持管理で沿線の自治体で負担する。車両の運行に関する部分は井原鉄道(株)の努力によって黒字を目指している。 倉敷のアウトレットモールの影響で清音以西の利用は増え、明るい兆しが見えているが、総社清音間は通学の利用が主で、あまり芳しくない。
問：井原鉄道のワンコインデーは超満員である。真備や井原駅前イベントが盛んだが、総社は終点でありながら甘酒一杯程度しかない。アピールが少ない。もっと協力してはどうか。
答：総社-清音間は JR の線路の使用料を年間 4,200 万円支払っており赤字のほとんどを占めている。総社市まで足を運んでくれるような策を講じて欲しいという要請はしている。ワンコインデーのイベントは確かに寂しい部分があるので検討させてほしい。

問：かつては 6,000 万円払って清音-総社間を利用させてもらっていた経緯がある。時間帯によっては、踏切で伯備線の上下りと井原線の3本の通過を待つ状態が1日のうちに何回かあった。8分位待っていた。それを解消してもらって今 4,200 万円になったのだろうと思う。4,200 万円を使わなければ経営が安定に向かうのなら、無駄なお金を見直して清音-総社間の廃止の方向に向けていくわけにはいかないのか。

答：井原鉄道の清音止めは他の市町村からの要望もかなりある。総社市としては駅舎まで改修しているし、吉備線延長の構想を潰したわけではないので総社市としてはちゅうちょしている。

例えば、橋が渡れなくなったとき、総社まで電車が来ておけば伯備線が普通に通過できるが、清音止めになった場合は、電車を交わす場所がないという問題もあるので電車を交わす経費も含めて検討している。

問：親が就職活動をする際に臨時的に預ってもらえるとか入所の内定がもらえなければ面接や研修に行けないこともある。3月から臨時預かりや内定することはできないか。

答：難しい問題である。一時保育やファミサポを利用する方法もある。4月からの就職が決まっていないときからの内定は難しい。事情があってどうしても入所ということになれば、研修する所の証明や3月からの入所申請をしていただければ空きがあれば3月から入れる。

問：子どもを預けて働きたいという要望にきめ細やかに応えるのが子育て王国であり、窓口での対応やケースごとの対応など原則は分かるが、一人ひとりを大切にしたい対応をしていただきたい。

答：申込のとき第3希望まで聞いている。希望の園に空きが出た場合には、途中でも紹介している。園が変わると園児服等一式かわるということもあり、十分説明をさせていただいた上で保護者が最終的には決めている。

問：墓地維持管理委託料と相反して、管理料を徴収するようにしてはどうか。歳入はどうなっているのか。健康保険料、介護保険料も保険料は変更している。その時代に応じて見直しをかけている。どの地区も公平になるようにするべきではないか。

答：新しい墓地は管理料として 2,000 円頂いている。昔からの墓地は決まりがなかったので未だに頂いておらず、面積や使用者をはっきりさせることが至難の業であり頂くことは現実難しい。管理料を頂いている墓地とそうでない墓地の差をつけるために、(管理料を頂いている) 下山墓地には舗装工事を行うことを考えている。

問：予防費を増額しているが、今回頑張って予算計上した部分はどこか。

答：こども課の関係では、1歳から3歳までの3年間、おたふくかぜと水疱瘡に半額補助をする。